

千葉地域の水田農業を未来へ

～水稲農家の事業承継に向けた支援～

1 課題の背景とねらい

千葉管内（千葉市、習志野市、市原市及び八千代市）の水田農業では高齢化が進み、後継者不在のまま離農する農家が増加しています。地域農業を維持するためには水稲農家が長期的な目線を持ち、次世代への承継にいち早く取り組む必要があります。

そこで、事業承継に係る意識啓発や支援を目的に、集合研修による意識づけや、個別指導巡回や農業経営体育成セミナーでの後継者育成に取り組みました。

2 普及活動の経過・結果

（1）令和7年度千葉地域水稲経営研修会の開催

経営承継の意義と手法を紹介するため、千葉県農業者総合支援センターと連携して研修会を開催し、講師として NPO 法人日本プロ農業総合支援機構（J-PAO）を招きました。事業承継の背景、概要、進め方等に関する講義の中で、事業承継は後継者の将来設計にとっても大切になること、時間がかかるため計画的に進める必要があること、そして何より、まずはひざを突き合わせ、お互いの想いを語る事が大事であることについて助言頂きました。

研修会後に行ったアンケートでは、回答者 21 名のうち 18 名から「理解できた」との回答があり、研修目的の「承継に関心を持ってもらうこと」について達成できたと考えられました。感想として「承継の具体的な方法が理解できた」「まず家族内で話題に出してみたい」といったものから、「父にも出席してもらいたかった」といった今後の不安を抱える後継者としての感想もありました。



写真1 水稲経営研修会の様子

（2）後継者育成に向けた個別支援

後継者のいる経営体に対し、当事務所が実施している若手農業者向け研修会「農業経営体育成セミナー」への参加を提案しました。その結果、市原市の大規模水稲経営体で雇用されている若手農家2名がセミナーに参加しました。

同セミナーでは、当事務所職員や農業関連メーカーが講師を務め、土づくりや病害虫防除等の営農知識について講義を行った他、受講生同士の相互経営訪問の時間を設け、仲間づくりを促す等の取組を行いました。

また、水稻経営体への個別指導巡回では、後継者と積極的に対話し、信頼関係の構築を図ると共に、後継者が抱える悩みや課題の把握に努めました。



写真2 農業経営体育成セミナー研修
(農業機械整備に係る研修)

3 今後の課題

来年度の水稲経営体への支援内容を検討するため、水稻農家担い手を対象に課題調査アンケートを実施しました。その結果、「事業承継が喫緊の課題である」と回答があった経営体が対象34戸の内7戸おり、事業承継への関心の高さがうかがえました。また、個々の経営体に詳細を聞き取ると、既に後継者を確保して育成に着手している経営体や、本人に後継者がおらず、第三者継承を模索している経営体と状況は様々であり、経営形態も個別経営や集落営農法人と多種多様でした。このことから、それぞれの事情・段階や経営形態に合わせた個別支援が必要と考えられました。一方、事業承継は今後の課題と認識しているが、漠然とした課題の域を脱しておらず、具体的に動き出せていない経営体が多いこともアンケート結果から確認されました。

以上のことを踏まえ、来年度以降の事業承継に係る当事務所の支援として、事業承継を重要な課題として認識している経営体に対しては、現経営主と後継者の話合いや承継計画の作成を支援するとともに、専門家の斡旋による承継資産の整理等の支援を実施していく予定です。一方、事業承継に対して関心が薄い経営体に対しては、引き続き事業承継に係る集合研修を開催し、事業承継の必要性や具体的な方法について現場への周知を図り、承継に向けた一歩を踏み出すためのきっかけ作りに努めていきます。このような活動を通し、地域の水田農業の継続を目指していきます。

4 担当者 市原グループ

千葉・習志野グループ

八千代グループ

5 協力機関 千葉県農業者総合支援センター